

特効薬より漢方薬

1・2年生は校外学習が終わり、3年生は高校見学に向けての準備が佳境に入ったところだと思います。部活動も夏の大会に向けてそれぞれ地区大会が始まっているのではないかと思います。



さてこれからの学校のメインイベントは「期末考査」です。まだ2週間もあるじゃないかなどとのんびり構えてはだめですよ。わかっていてもなかなか取り組めないのが勉強です。「よし、勉強するぞ!」と気合いを入れて教科書を開き、読み始めてもなんとなく集中できなかったり、気が重くなってきたりするものです。

「やる気ーやらなきゃいけないという気持ちはあるのに、何故なのかな〜」っていう思いってありますよね。でも残念ながら、その問題を解決するための特効薬(すぐに効く薬)っていうのはないのです。特効薬はありませんけれど、ジワ、ジワと効いてくる漢方薬ならあります。「テスト前に漢方薬なんてあまり効果がないんじゃないか」などと言わないで下さい。勉強というのは順序が大切なのです。

まずは一番根っこの部分からスタートをしていくことが大切です。授業を教えている時、テスト前に「今回の試験範囲で重要と思うことを頭に入れて、試験問題を自分で作ってみよう」という課題を出したことがあります。試験問題を作るためには、教科書を丹念に読み、ノートをチェックしていくことが大切です。そして出来上がった問題を見れば、単元の重要事項を押さえているかどうかをみることができます。ポイントを押さえたなかなかいい問題を作る人がいる反面、教科書の欄外に書かれているような細かいことを寄せ集めて作ったような問題もあります。

また、「班学習で問題を出し合ってみよう」と言うと、とてもすぐには答えられないだろうと思えるような難しい問題を教科書の隅っこの方から探してきて質問をしている人がいます。

家庭学習をしていく上で大切なことは、まず根っこの部分を押さえていくということです。

この根っこの部分にあたるのが、教科書の理解です。教科書を何度も読む、ただ漫然と読むのではなく、授業中に先生から「ここは大切だからアンダーラインを引いておきなさい」と指示されたことなどを思い出しながら読んでいくことが重要です。特に英語は音読が欠かせません。その上で幹にあたるノートのチェックをすることが大切です。しかもそのノートが1時間、1時間の授業が思い出せるようなノートなら、さらに理解を深めていくのに大いに役立つはずですよ。そして枝葉にあたる問題集で理解できているか否かを確認すると共に応用力を付けていく。これだけのことを2週間かけて取り組んでいけば、ジワ、ジワと漢方薬の効き目が出てくるはずですよ。

2週間という限られた時間を有効に使って下さい。



学校公開・道徳地区公開のご案内

来る6月17日(火)は学校の1日公開です。また5校時は道徳授業を実施し、2:45から「翔ばたけ六中生、21世紀の大空へ」という題で、学校と家庭・地域の協働に向けてのパネルディスカッションを実施する予定です。是非多くの方にご参加頂ければと願っております。

六月五日に教養部の主催で実施されました給食試食会には、学校運営連絡委員の方も含め多数の保護者の方々にお越し頂き、誠にありがとうございました。育ち盛りの子供達にとって分量はどうだろうか、味付けはどうだろうか等とても貴重なご意見を多数頂き、今後の学校給食に反映できる部分を検討していきたいと考えております。ありがとうございました。

ありがとうございました

ありがとうございました